

障害者の一般就労を支える人材の研修体系・モデルカリキュラム(案)

資料1③

1. 就労支援員研修(就労移行支援事業者)

① 研修の概要

対象者	就労移行支援事業者の就労支援員
期間	15時間程度
受講者数	20～40人程度
研修のねらい	就労支援員としての業務に必要な知識等を習得し、関係機関との連携に関する実践的なノウハウを習得する。

② カリキュラム

科目	内容	形態	時間数	
障害者雇用の現状と障害者雇用施策の概要	・障害者雇用の現状について理解する。 ・障害者雇用対策、各種制度の概要について知識を習得する。	講義	2	② ②
労働関係法規の基礎知識	・労働基準法、最低賃金法等の基礎的な知識を習得する。	講義	1～2	②
障害特性と職業的課題	・障害特性と職業的課題、支援上の留意事項等について理解する。	講義	1～2	①
就労支援のプロセスと支援内容	・就労支援のプロセスを理解する。 ・就労支援の内容について理解する。	講義	1～2	① ③
企業における障害者雇用の実際	・企業における障害者雇用の考え方、雇用管理等 ・障害者雇用の現場見学	講義 見学	2	④ ④
関係機関の役割と地域ネットワークの活用	・関係機関の役割や連携に関する実践的なノウハウを習得する。	講義 グループ討議	2～3	③ ③
就労移行支援と職業準備性	・一般就労にむけた課題の把握、就労移行支援の留意事項等について理解する。 ・就労移行支援のためのチェックリストの利用方法について習得する。	講義 演習	1～2	
ケーススタディ	・就労移行支援等の取組事例を通じて具体的な支援方法について理解する。	ケーススタディ	2	